

ナイジェリア・ポップカルチャーミッション派遣 実施概要およびコンセプト

Super Japan in Lagos

～日・アフリカに新時代を築くためのオタク・クリエイティブ経済への誘い～

日本貿易振興機構（ジェトロ）

ラゴス事務所

2025年9月15日

1 | 現状認識およびイベントの方向性

- アフリカ最大の人口大国において、**日本のポップカルチャーの持つ訴求力を活かしたビジネスチャンスを探る**ためのミッション派遣を実施。
- 日本のアニメファンらやクリエイターらと日本企業が交流する場を提供する。日本に関心の高い若年層に**日本製品をPR**し、日本企業が**彼らを対象としたビジネス展開の方策を探る**場を創出する。

【現状認識】

- 日本とアフリカ関係の“高齢化”脱却のために、従来型商談支援にとられない形でアフリカの次世代を担う若年層と日本企業を繋ぐ取り組みが必要（2024年度地域調整会議）。
- アニメやマンガ、ゲームは若年層に人気でファンダムによるイベントも主催される。これらから派生し、日本文化や日本語や日本食などへ興味関心が広がる。
- ナイジェリアの人口は2億3,000万人を超え、2055年までに4億に達し世界第5位と予測される。年齢中央値は約19歳で2055年時点でも約30歳と若年層は今後拡大するとみられている。
- ナイジェリアは音楽（**Afrobeats**）や映画（**Nollywood**）で独自のアイデンティティーを持ち、クリエイティブ産業やエンターテインメント産業の伸長も著しい。

【イベントの目指す方向性】

- 日本のソフトパワーの原動力のファンコミュニティとクリエイターによる消費活動やニーズを可視化し、日本企業のビジネス展開の方策を探る。
- アニメやマンガ、ゲームなどサブカルチャーに着目し、日本製品の販路開拓をサポートする。
- 加えて現地のクリエイターらにも注目し、アフリカ発の物語や作品を日本のクリエイティブ産業を通じて世界に打ち出すといった産業間の連携も視野に、同分野でネットワーク強化を図る。

（出所）

世界に挑むアフリカ発アニメとアフリカの日本アニメ人気とは | アフリカにおける日本のポップカルチャーの可能性を探る - 特集 - 地域・分析レポート - 海外ビジネス情報 - ジェトロ

TICADでアフリカの「オタク」が日本アニメを議論、日本企業の進出望む声も(カメルーン、日本、エジプト、ナイジェリア、南アフリカ共和国) | ビジネス短信 - ジェトロの海外ニュース - ジェトロ

成長著しいアフリカ市場 日本の商機は「オタク」？「漫画とアニメ」最強の「ソフトパワー」中国の戦略は教育と「見学ツアー」 (TBS NEWS DIG)

Copyright © 2025 JETRO. All rights reserved.
ジェトロ作成。無断転載・転用を禁ず

ミッション派遣実施概要

予算原課：
海外ビジネスサポートセンター
ビジネス展開課

名称	ナイジェリア・ポップカルチャーミッション派遣
時期	2025年11月13日（木）～16日（日）
視察先	ナイジェリア・ラゴス
目的	日本のソフトパワーの原動力である熱狂的なファンコミュニティとクリエイターにおける消費活動やニーズを可視化し、日本企業等によるビジネス展開の方策を探るきっかけを提供すること
主な対象	ナイジェリアの若年層市場の取り込みに関心のある映像制作企業や販路開拓を目指す日本企業の皆様
参加費	無料 ※航空券・ホテル宿泊代等は各自手配。
言語	日本語・英語（ナイジェリア公用語）
形式	現地集合・現地解散型
主なプログラム内容	・ラゴス国際見本市（ジャパンパビリオン）のデモデーの実施 ・ラゴス市内のクリエイティブ産業関係者らとのネットワーキング
主な参加特典（ジェット口対応）	・日本語によるオリエンテーション ・ジェット口職員による全行程の日程調整・同行 ・行程中の交通手段手配、ラゴス空港・ホテル間の送迎（希望されない場合を除く） ・ナイジェリア入国ビザ取得に必要な招聘状の発行 ・渡航・安全情報の提供

1 | ミッション概要

- ナイジェリアのクリエイティブ産業関係企業の視察やクリエイターらとの交流会を実施。
- 西アフリカ最大級の総合国際見本市「ラゴス国際見本市」の「ジャパンパビリオン」にてポップカルチャーイベント「Super Japan in Lagos」を実施。ファンらや一般消費者との交流を想定する。

11月12日（水）	11月13日（木）	11月14日（金）	11月15日（土）	11月16日（日）
→ラゴス着 ※現地集合	午前： 企業視察 （調整中・ラゴス） 午後： 「ラゴス国際見本市」 （ジャパンパビリオン）視察 夕刻：「交流会」 地場クリエイティブ産業企業、業界関係者、 現地ファンコミュニティとの交流会	終日 「ラゴス国際見本市」 でのデモデーの実施 Super Japan in Lagos DAY1 @ラゴス国際見本市 「ジャパンパビリオン」	終日 「ラゴス国際見本市」 でのデモデーの実施 Super Japan in Lagos DAY2 @ラゴス国際見本市 「ジャパンパビリオン」	ラゴス発→ ※現地解散
【ジェットロ手配・負担】				
・ 移動車両 （空港→ホテル） ・ 空港内移動補助	・ 移動車両 （ホテル⇄移動先）	・ 移動車両 （ホテル⇄移動先）	・ 移動車両 （ホテル→空港）	・ 移動車両 （ホテル→空港） ・ 空港内移動補助
【参加者の各自手配・負担】				
・ 航空券 ・ 飲食代 ・ ホテル宿泊	・ 飲食代 ・ ホテル宿泊	・ 飲食代 ・ ホテル宿泊	・ 航空券 ・ 飲食代	・ 渡航雑費

2 | 現地視察および交流会

- ナイジェリアは独自の音楽や映画産業の伸長から独自の地位を築き、文化の発信拠点としての可能性を持つ。
- 現地視察においてはクリエイティブ産業に焦点を当て、現地のアニメスタジオなどの視察を実施。
- 交流会では業界関係者らを交え、日本とナイジェリア間の協業の可能性も視野にネットワーキングを行う。

現地視察ツアー

・ナイジェリアクリエイティブ産業企業訪問

視察先：調整中

メディア、アニメ・ゲームスタジオら

1.

業種：アニメスタジオ

概要：

2.

業種：アニメスタジオ

概要：

ポイント

・ナイジェリアのクリエイターのスキル等、急成長するクリエイティブ産業の今を知る。

・日本・ナイジェリアのクリエイティブ産業での協業の可能性を探る。

交流会

・ナイジェリアクリエイティブ産業企業訪問

場所：ラゴス市内のレストラン（調整中）

アニメや映画などナイジェリアにおける製作関係者らと交えた交流会を実施する。このほか、オタクコミュニティの主催者も招き、アフリカのファンコミュニティを消費者と捉えるのではなく、日本企業の若年層取り込みにおけるビジネスパートナー候補として、連携強化を目指す。

ポイント

・アフリカはインフォーマルな市場が少ない中で、日・アフリカ双方のプレイヤーの見える化を行う。

・ジェトロがプラットフォーム機能を持ち、現地ニーズを関係者につなぎ個別支援事例へと昇華させる。

1 | Super Japan in Lagos

- ポップカルチャーを軸としたPRイベントを実施し、日本製品の購買や体験につなげるほか、日本企業からの提案や出展による体験型イベントを創出する。
- 現地のオタクイベント主催者と連携しオタクを動員するほか、日本企業の参加者の要望に基づく来場者アンケートを併せて実施。若年中間層に向けたマーケティング調査の場として活用する。

■ Exhibitors Zone :

【展示】日本企業による展示ゾーン。消費財等の製品展示や試食、サンプリングなどを実施。

■ Catering Zone :

【物販】飲料・酒・食事などを体験・購買が可能なエリア

■ Artist Exhibitors Zone :

【展示・物販】ナイジェリア人クリエイターやプロダクションによる作品展示。

■ Otaku Zone

【展示・物販】ナイジェリアのファンコミュニティによる展示および物販スペース

■ Event Stage

【パフォーマンス】現地オタクイベント主催者や日本企業によるステージイベントの企画・運営。
コスプレイベント、ライブドローイングなどの企画。

■ Workshop Area

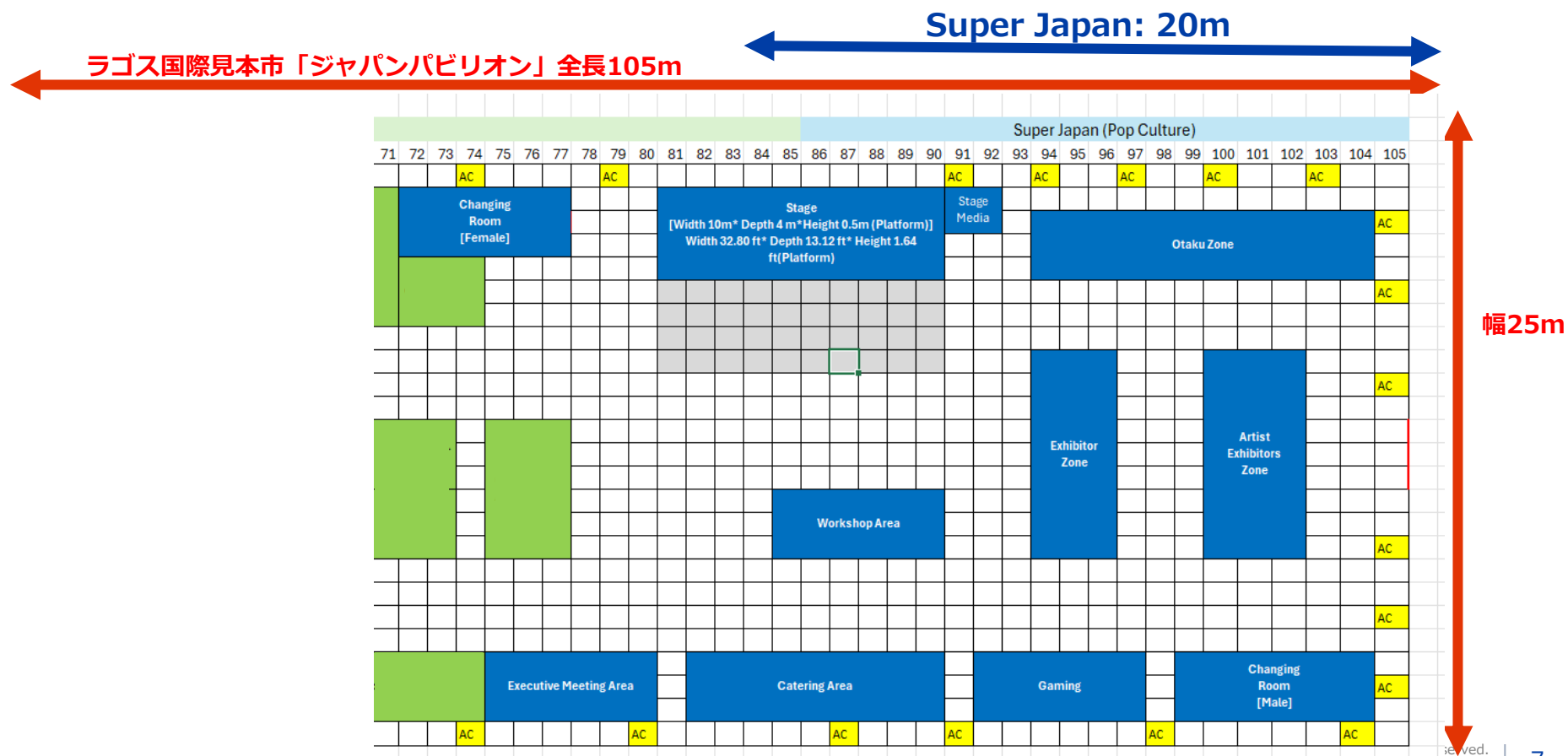
日本企業や現地プロモーターによる体験型イベントの創出

ぬりえなどのワークショップの実施も検討。（期間2日間の体験者目標を250人以上と据える。）

1 | Super Japan in Lagos

9月16日更新 Ver. 3

- 「ラゴス国際見本市」の「ジャパンパビリオン」(フロンティア開拓課)と併催する。
- テント総面積は2,625 m²、うち500平方メートルをSuper Japan in Lagosが占有する。
- 11月14日(金)および15日(土)にSuper Japan in Lagosを実施し、ラゴスの若者やクリエイターら1日当たり1,500人の来場を目指す。



2 | Super Japan in Lagos—各種ゾーン概要

9月16日更新

1. Exhibition Zone (“Experience Japan Zone”)

- ミッション企業による展示ゾーンとして活用。
- 参加企業は自社製品の紹介やデモンストレーションのエリアとして事由に活用することができる。
- ミッション参加企業は原則、同エリアを拠点にオタクや消費者層らと交流することを想定する。



2024年度ジャパンパビリオンの様子
(出所) ジェトロ撮影

2. Catering Zone

- 飲料、酒、食事などの**体験・購買**が可能なエリア。
- 「ライフスタイル調査」（ジェトロ）でもラゴスの若者の娯楽の最大の関心事は**食**であることを踏まえ、日本食の体験・購買へつなげる。
- （展示・購買可能な製品）※（）内は調整中
飲料：
酒類：ゆず酒、梅酒、瓶入りラムネ、コーヒー
食事：やきうどん、おにぎり、（味噌汁）



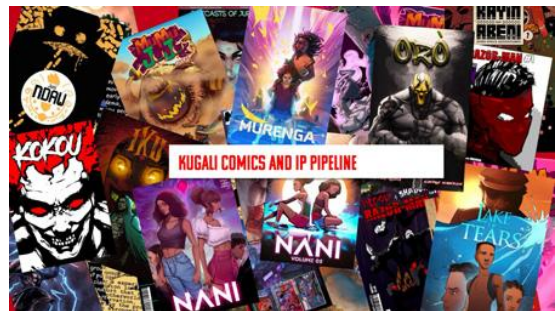
ケータリングエリアのイメージ
(出所) ジェトロ作成

2 | Super Japan in Lagos—各種ゾーン概要

9月16日更新

3. Artist Exhibition Zone

- ナイジェリア人クリエイターやプロダクションによる作品展示を想定する。同国のクリエイティブ産業の伸長を象徴するものとする。
例：Kugali Media
米ウォルト・ディズニー社史上初めて、外部スタジオを活用した企画製作を実現し、近未来のラゴスを舞台とするSF要素のあるアニメシリーズである「Iwaju」を2024年に公開した。
同作品はエミー賞などを受賞し、国際的な評価を得た。



地場プロダクションによるIPの例
(出所) Kugali Media

(参考記事)

世界に挑むアフリカ発アニメとアフリカの日本アニメ人気とは | アフリカにおける日本のポップカルチャーの可能性を探る
- 特集 - 地域・分析レポート - 海外ビジネス情報 - ジェトロ

4. Otaku Zone

- ナイジェリアのファンコミュニティによる展示や物販スペース。
- 現地プロモーターとなる現地のファンコミュニティと連携したイベント運営を目指す。
- 現地プロモーターとして、「Otaku TV」と連携。
※同社はTICAD9の招へい企業※

(Otaku TV/ Otaku Connectについて)

2019年より日本のアニメやマンガに特化したオタクイベントを組成。
2024年にはアブジャ（首都）とラゴスにて計2,000名を動員するオタクイベントを主宰した。



ファンイベントのイメージ
(出所) Otaku TV提供

2 | Super Japan in Lagos—各種ゾーン概要

5. Stage Event

- 日本企業やオタクコミュニティによるイベントを実施。
- コスプレイベントや日本企業によるアニメ作品発表会など目玉となるコンテンツを現在調整中。



施工予定のステージ
(出所) ジェトロ

6. Workshop Area

- 主に日本企業による製品体験とポップカルチャーを組み合わせたワークショップの実施を想定する。
- PILOT社の協力により、「ぬりえ」のワークショップを行う方向で調整中。このほかミッション参加者やジャパンパビリオンの出展者よりワークショップのアイデアを募る方針。
- 加えて、ナイジェリアのプロダクション関係者らによるワークショップ組成があれば、それらは可能な限り取り込む。



ファンイベントのイメージ
(出所) Otaku TV提供

1 | (参考) ラゴス国際見本市「ジャパンパビリオン」

- 1977年より「ラゴス商工会議所（LCCI）」主催の総合見本市で、現在は西アフリカ最大級を誇る。
- ラゴス事務所は2014年度よりジャパンパビリオンを設置し、日本製品のPRおよび販路開拓に寄与。
- 一般消費者を含むマスへの接点を提供し、マーケティング調査をサポートする。



独立記念を実施した広場
「Tafawa Balewa Square」に
日本館を設置。

ジャパンパビリオンの来場数：
2023年 約50,000人
2024年 約32,000人
(ジェトロ調べ)



車両や飲料、食品、OA機器、
機械類など
多種多様な日本ブランドを
展示。

2024年度は40社の日本企業
が出展。



特設ステージにおける企業イベント
など現地消費者へのプロモーション
をサポート。

土日には家族連れも多く、毎年出展
者によるデモやパフォーマンスを取り
入れている。

1 | (参考) ナイジェリアのオタクイベント

- Otaku Connectは2019年に開始した日本のアニメ特化のイベント。2024年は2,000人の入場者を記録。日本のアニメファンらが「自分らしくいられる場所」をコンセプトにファンの交流の場を創出。



ラーメン食い競争



コスプレ大会



アニメランキングコーナー



キャラクター投票

1 | (参考) TICAD9での取り組み

- TICAD9併催事業「TICAD9 Business Expo and Conference」にてクリエイティブ産業やオタクイベントの主催者らを招へい。本ミッションではこれら企業と連携し、TICADとの相乗効果を図る。
- アニメ関連製品の需要の高さや正規品の流通経路への課題への指摘、共同制作に係る期待を議論。

TBECにおけるナイジェリアからの招へい者（抜粋）

	Mr. Toluwalakin OLOWOFOYEKU	President/ Head of Publishing	Kugali	
	Mr. Gospel Omeoga (Gossy) UKANWOKE	Managing Director	KingMakers	
	Mr. Samuel ONYEMELUKWE	Senior Vice President of Global Business Development	TRACE	
	Mr. George Chukwuebuka THADDYOPARAOCHA	Chief Executive Officer	Otaku TV/ ARKRONIN LIMITED	

1 | 日本のアニメ人気とポップカルチャー熱の高まり

9月15日時点
9月16日更新

- 2025年9月12日より『劇場版「鬼滅の刃」無限城編』が国内映画館10か所で上映開始。
- 公開直後の週末の興行収入は約820万円（8,200 万NGN）で過去最大の公開初動を記録。
- ファンコミュニティによる「鬼滅の刃」関連イベントの実施などの動きがみられた。



（出所）FilmOne社インスタグラム



公開初日（9月12日）のラゴス市内の映画館の様子。
作品のファンを中心に多くの若者でにぎわった。
チケットは1枚約850円（8,500 NGN）。

（出所）ジェトロ撮影

1 | 日本のアニメ人気とポップカルチャー熱の高まり

- Lagos Comic Conventionは2012年から始まったポップカルチャーイベント。
- 2024年には7,000人の来場者を記録。
- 2025年はチケット販売額が500円～5,000円と高価格化が進むが来場者は増加傾向にある。



コスプレ大会の様子



午後3時頃の様子。多くの若者でにぎわう。

(出所) ジェトロ撮影



日本などのアニメコンテンツのコスプレを楽しむ人々の姿もみられた。